

登録コード	ASJ03649	開講年度	2026				
授業科目	特別研究				担当教員	松島 憲一	
英文授業名	Graduate Research				副担当		
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンベンション	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。				植物遺伝育種学に関する専門的な研究を計画、実施でき、その内容を発信できている。		
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。				植物遺伝育種学に関する専門的な研究を計画、実施でき、その内容を発信できている。		
授業の概要	トウガラシ、ソバなど栽培植物の遺伝に関する幅広い知識と専門領域の最新知識を習得するために, 最新の学術論文や専門書を紹介・解説するとともに, 栽培植物の遺伝・育種分野における新技術の開発や新たな知見を得るために実験を実施する。また、必要に応じて遺伝資源探索等の現地調査を行う。研究成果を学会等で発表するとともに, 研究成果を修士論文として完成させる。						
Contents:	To learn about the heredity of vegetables and crops, We will introduce technical books and the latest research papers on plant science. Various investigations and experiments will be performed to obtain useful knowledge in the field of plant genetics and breeding. Finally, the results obtained in the research must be summarized as a master's thesis.						
授業計画	1．文献検索 2．課題の抽出 3．実験計画の作成 4．実験技術の習得 5．実験の実施 6．実験技術の習得 7．実験の実施 8．関連学会参加および発表 9．実験の技術の習得 10．実験の実施 11．実験の実施 12．実験の実施 13．論文執筆指導 14．論文執筆指導 15．成果発表指導						
成績評価の方法	研究への取り組みの様子, 中間発表, 学会参加と発表, 修士論文提出とその内容, 最終試験(修士論文発表)の結果を総合して評価します。						
成績評価の基準	秀: 授業の達成目標水準から見て卓越している (分野横断的な技術・知識を活用して研究を実施し、適切に成果を発表している) 優: 授業の達成目標水準よりかなり上にある (専門分野のみの技術・知識を活用して研究を実施し、適切に成果を発表している) 良: 授業の達成目標水準よりやや上にある (研究を実施し、適切に成果を発表している) 可: 授業の達成目標水準にある (研究を実施し、成果を発表している) 不可(D): 授業の達成目標水準よりやや下にある (研究を達成できないか、もしくは、成果を適切に発表できていない) 不可(F): 授業の達成目標水準にない (文献を正しく読めない)						
事前事後学習の内容	研究室内他者の研究内容、プレゼンテーション手法についても把握し、お互いに指導、指摘し合う。また、学会等に参加し学外の研究者の研究内容、プレゼンテーション手法についても観察し、学ぶべき所は学ぶ。						
履修上の注意	特になし。						
質問, 相談への対応	随時対応します。						
学生へのメッセージ	自ら進んで研究に取り組むことが大切です。						
【教科書】	自ら進んで研究に取り組むことが大切です。						
【参考書】	随時紹介します。						